

2024年11月29日

各 位

北越コーポレーション株式会社

CO₂分離回収技術に関する実証試験開始のお知らせ

当社は、新潟工場のソーダ回収ボイラー（以下「回収ボイラー」といいます。）から排出するCO₂を分離回収する技術の実証試験を11月から開始しました。

製紙に必要な蒸気や電力をつくる回収ボイラーの主な燃料は、紙の原料となるパルプの製造過程で副生成物として発生する黒液*¹です。黒液を燃焼して発生するCO₂は、カーボンニュートラルです。

カーボンニュートラルなCO₂を分離回収することと輸送貯留技術との組み合わせにより大気中のCO₂を削減する技術「ネガティブエミッション」が実現されます。

今回の実証試験では、三菱重工業株式会社の小型CO₂回収装置（CO₂MPACT™モバイル）を設置し、回収ボイラーの排ガスに含まれるカーボンニュートラルのCO₂を分離回収します。

当社は、本実証試験を通じて将来のネガティブエミッションの可能性を検証し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。



回収ボイラー



CO₂MPACT™モバイル

*1：木材からパルプを製造する際に発生するリグニンなどが含まれる黒い液体。
黒液は、木が成長する過程で固定化した炭素を起源とするバイオマス燃料であり、燃焼しても大気中のCO₂は増加しません。従って、黒液を燃焼して発生するCO₂は、カーボンニュートラルです。